

事務事業評価表（内部管理事務等）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	福祉医療事務		コード	2410	
2 担当部課	部等	市民環境部	課等	医療保険課	
	作成者	斉藤 智也			
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政策	福祉の推進	施策	社会保障の円滑な運営
		予算科目	福祉医療事務費	業務委託	一部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	岡谷市福祉医療費給付金条例等		

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要（簡潔に）	福祉医療費の対象者に対して医療費の給付を実施するため、適正な資格管理等を行う。	
目的	対象者	乳幼児等、障がい者、母子家庭等、父子家庭
	意図	早期適切な受療と医療費の家計への負担軽減を図る。

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
	<p>1. 福祉医療費の対象者の資格管理を行った。（令和2年3月31日現在） 乳幼児等5,475人 障がい者1,777人 母子家庭等1,151人 父子家庭103人 計8,506人</p> <p>2. 医療機関等に対して、給付金を支給するためのデータ作成を委託した。 50,028件 9,755,460円</p> <p>3. 長野県国民健康保険連合会に、給付金を支給するためのデータ作成を委託した。 自動給付分 50,028件 1,100,616円 現物給付分 7,081件 439,022円 計1,539,638円</p> <p>4. 社会保険診療報酬支払基金に、給付金を支給するためのデータ作成を委託した。 医科歯科分 43,027件 調剤分 11,680件 計3,667,216円</p> <p>5. 医療機関等に対して、資金貸付金の利用者が受診した手数料の支払を行った。 231件 45,045円</p>	
前年度の課題への対応	令和元年8月の更新時において、令和2年7月31日までに身体障害者手帳等の有効期限が到来する者に、その有効期限までの受給者証を交付し、手帳等の有効期限後に受給者証を持つことがないよう、資格管理を徹底した。	

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）			[単位：円]
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	27,685,555	22,938,790	16,282,700	18,274,000
経常経費	27,685,555	22,938,790	16,282,700	18,274,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
② 人件費	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
正規職員の人数（人）	0.50	0.50	0.50	0.50
③ 合計コスト（①+②）	31,685,555	26,938,790	20,282,700	22,274,000
前年度比		85.0%	75.3%	109.8%
財源	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
一般財源	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
内訳	27,685,555	22,938,790	16,282,700	18,274,000
特定財源	27,685,555	22,938,790	16,282,700	18,274,000
* 特定財源の説明	県補助金、受給者負担金等			
④ コストに関する補足説明				

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 特になし
	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 特になし
改善方法	
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
----------	--------	---	---